

# 第7期東大和市介護保険事業計画 準備調査報告書

平成29年3月

東大和市



# 【目 次】

第1章 調査の実施概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の概要	3
3. 日常生活圏域について	4
4. 報告書を読む際の注意事項	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
1. 封筒の宛名のあなたについて	7
(1) 記入者	7
(2) 居住圏域	7
(3) 性別	8
(4) 年齢	9
(5) 介護度	9
2. あなたのご家族や生活状況について	10
(1) 家族構成	10
(2) 介護・介助状況	11
(3) 介護・介助が必要になった原因	12
(4) 主な介護・介助者	13
(5) 現在の暮らし向き	14
(6) 住まいの形態	15
3. からだを動かすことについて	16
(1) 運動について	16
(2) 過去1年間の転倒の経験	17
(3) 転倒に対する不安	18
(4) 週に1回以上の外出	19
(5) 外出回数の減少（昨年との比較）	20
(6) 外出を控えているか	21
(7) 外出を控えている理由	22
(8) 外出する際の移動手段	23
4. 食べることについて	24
(1) 身長と体重	24
(2) 口腔について	25
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況	26
(4) 噛み合わせは良いか	27
(5) 体重減少の有無	28
(6) 誰かと食事をともにする機会	29
5. 毎日の生活について	30
(1) 認知機能について	30
(2) IADL（手段的日常生活動作能力）	31

(3) 知的能動性（手段的日常生活動作能力）	32
(4) 社会的役割（手段的日常生活動作能力）	33
(5) 趣味の有無	34
(6) 生きがいの有無	34
6. 地域での活動について	35
(1) 会・グループ等への参加頻度	35
(2) 健康づくりや趣味等のグループ活動への参加意向	36
(3) 健康づくりや趣味等のグループ活動の企画・運営（お世話役）での参加意向	37
7. たすけあいについて	38
(1) 心配事や愚痴について話せる人	38
(2) 看病や世話をする人	39
(3) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手	40
(4) 友人・知人と会う頻度	40
(5) 1か月間に会った友人・知人	41
(6) よく会う友人・知人との関係	41
8. 健康について	42
(1) 健康状態	42
(2) 幸せの程度	42
(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになる	43
(4) 物事に興味がわかない、心から楽しめない	43
(5) 飲酒	44
(6) 喫煙	44
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気	45
9. 各種機能の割合	46
(1) 運動器の機能低下該当者割合	46
(2) 口腔機能低下該当者割合	47
(3) 外出頻度（閉じこもり傾向の該当者割合）	48
(4) 転倒経験（転倒リスク該当者割合）	49
(5) 低栄養傾向該当者割合	50
(6) うつ傾向の該当者割合	51

### 第3章 介護保険事業計画準備調査（要介護・要支援者） 53

1. 封筒の宛名のご本人について	55
(1) 記入者	55
(2) 性別	55
(3) 年齢	56
(4) 介護度	56
(5) 施設	57
2. 施設等での生活、サービスについて	58
(1) 施設の入所・入居期間	58

(2) 施設に入所・入居する直前の居場所	59
(3) サービスの満足度	60
(4) 今後の生活についての考え	61
3. 自宅での生活、サービスについて	62
(1) 居住区	62
(2) 同居者	63
(3) 同居者は全員が65歳以上か	64
(4) 同居者が半日以上外出し、自宅で一人になることがあるか	65
(5) 身近で支えてくれる人	66
(6) 一日中、誰とも顔を合わせない、話をしないという日	67
(7) 外出頻度（買い物や散歩、通院など）	68
(8) 身体の状態が悪くならないように取り組んでいること	69
4. 介護保険サービスについて	70
(1) 現在の介護保険のサービスの利用状況	70
(2) サービスを利用していない理由	71
(3) 現在、利用しているサービス	72
(4) 介護保険サービスの満足度	73
(5) 介護保険サービスの利用による生活の変化	74
5. 今後の生活等について	75
(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）へ入所の申込み	75
(2) 今後の生活についての考え	76
(3) 治る見込みがない病気になった場合、最期を迎えたい場所	77
(4) 新たに利用したいサービス、利用を続けたいサービス	78
(5) 自宅で暮らし続けていくために必要なサービス・条件	79
(6) 本人あるいは身近な人に認知症の疑いがあるときの相談先	80
(7) 今後、認知症対策を進めていくうえで、重点を置くべきこと	81
6. 地域社会への参加について	82
(1) 生きがい（喜びや楽しみ）を感じているか	82
(2) 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時か	83
(3) 趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うために必要なこと	84
(4) 行いたい、または参加したい活動	85
(5) 最も力を入れて参加したい活動	86
(6) 活動に参加したいと思う理由	87
(7) 活動に参加したい頻度	88
7. 高齢者の福祉サービスについて	89
(1) 高齢者の福祉サービスについて	89

#### 第4章 介護保険事業計画準備調査（一般高齢者） 93

1. 封筒の宛名のご本人について	95
(1) 記入者	95

(2) 性別	95
(3) 年齢	96
(4) 居住区	96
(5) 家族構成	97
(6) 同居者全員が65歳以上か	98
(7) 同居者が半日以上外出し、自宅で一人になることがあるか	99
2. 生活の状況について	100
(1) 支えてくれる人が身近にいるか	100
(2) 一日中、誰とも顔を合わせない、話をしない日があるか	101
(3) 外出頻度	102
(4) 現在、かかっている病気、または治療中の病気	103
(5) 身体の状態が悪くならないように取り組んでいること	104
(6) 生活をしていて不安に感じていること・困っていること	105
(7) 健康や生きがいづくりのための活動	106
3. 介護予防事業について	107
(1) 興味がある、または参加したい介護予防	107
(2) 「東大和元気ゆうゆう体操」について	108
(3) 「認知症に関する情報・知識」の認知状況	110
(4) 自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるときの相談先	111
(5) 今後、認知症対策を進めていくうえで重点を置くべきこと	112
4. 今後の生活等について	113
(1) 今後、介護が必要になった場合の生活について考え方	113
(2) 在宅で療養が必要となった時に不安となる要因	114
(3) 治る見込みがない病気になった場合に最期を迎えたい場所	115
(4) 自宅で暮らし続けていくために必要なサービス・条件	116
(5) 食事の用意が出来なくなったときに利用したいサービス	117
5. 地域社会への参加について	118
(1) 生きがい（喜びや楽しみ）について	118
(2) 生きがい（喜びや楽しみ）を感じる時	119
(3) 趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うため必要なこと	120
(4) 活動への参加意向	121
(5) 最も力を入れて参加したい活動	122
(6) 活動の参加頻度の意向	123
(7) 活動に参加したいと思う理由	124
(8) 活動に参加するためのきっかけ	125
6. 高齢者の福祉サービスについて	126
(1) 高齢者の福祉サービスについて	126

## 第5章 在宅介護実態調査 129

1. 基本属性	131
---------	-----

(1) 記入者	131
(2) 世帯類型	131
(3) 本人（調査対象者）の性別	132
(4) 本人（調査対象者）の年齢	133
(5) 本人（調査対象者）の介護度	134
2. A票 調査対象者様ご本人について	135
(1) 施設等への入所・入居の検討状況	135
(2) 現在抱えている傷病	136
(3) 1か月間の介護保険サービスの利用有無	138
(4) 介護保険サービス（1週間あたりの利用回数）	139
(5) 介護保険サービスを利用していない理由	141
(6) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス	142
(7) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	143
(8) 訪問診療の利用有無	144
(9) 家族や親族の方からの介護の頻度	145
3. B票 主な介護者について	146
(1) 家族や親族で介護を主な理由として、仕事を辞めた有無	146
(2) 主な介護者	147
(3) 主な介護者の性別	148
(4) 主な介護者の年齢	149
(5) 主な介護者が行っている介護等	150
(6) 主な介護者の方が不安に感じる介護等	151
(7) 主な介護者の現在の勤務形態	152
(8) 介護をするにあたっての働き方の調整等	153
(9) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援	154
(10) 働きながらの介護の継続状況	155
<b>第6章 事業者に対する調査</b>	<b>157</b>
(1) 事業所のサービス種別	159
(2) 事業所の従事者数（パートタイマーなどを含む）	160
(3) 事業所の総従事者数のうち非正規の従事者の割合	160
(4) 事業所の介護報酬に対する人件費の割合	161
(5) 雇用することが難しいと思う職種	161
(6) 事業所の「介護職員」の人材確保の状況	162
(7) 平成27年度の「介護職員」の離職率（前年度比）	162
(8) 平成27年度の介護報酬改定に伴う対応	163
(9) 届出を行わない理由	163
(10) 平成27年度の事業所の経営状態	164
(11) 黒字となった理由	164
(12) 赤字となった理由	165

(13)	労働環境整備・改善のために必要な取組み	165
(14)	人材育成のためにしていること	166
(15)	従事者に実施している研修	166
(16)	職場でのキャリアアップに関する整備状況	167
(17)	事業所を運営する上での課題	167
(18)	事業所での定員に対する稼働状況（月の稼働率）	168
(19)	利用者からの苦情や要望、意見などを受け付ける窓口	168
(20)	サービス提供中の事故、災害時の対応方法の文書やマニュアルの整備	169
(21)	事業所からみた利用者の心配ごとや悩みごと	169
(22)	介護保険適用以外のサービスでニーズの高いもの	170
(23)	事業所からみて不足しているサービス	171
(24)	今後、市に対し事業者として特に望むこと	172

## 第7章 共通質問の比較（要介護・要支援者と一般高齢者の比較） 173

1.	基本属性	175
(1)	家族構成	175
(2)	同居者が全員65歳以上か	176
(3)	同居者が半日以上外出し、自宅で一人になることがあるか	177
2.	生活の状況について	178
(1)	支えてくれる人が身近にいるか	178
(2)	一日中、誰とも顔を合わせない、話をしない日があるか	180
(3)	外出頻度	181
(4)	身体の状態が悪くならないように取り組んでいること	182
3.	介護予防事業について	183
(1)	自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるときの相談先	183
(2)	今後、認知症対策を進めていくうえで重点を置くべきこと	184
4.	今後の生活等について	185
(1)	今後、介護が必要になった場合の生活について考え方	185
(2)	治る見込みがない病気になった場合に最期を迎えたい場所	186
(3)	自宅で暮らし続けていくために必要なサービス・条件	187
5.	地域社会への参加について	188
(1)	生きがい（喜びや楽しみ）について	188
(2)	生きがい（喜びや楽しみ）を感じる時	189
(3)	趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うため必要なこと	190
(4)	活動への参加意向	191
(5)	最も力を入れて参加したい活動	192
(6)	活動の参加頻度の意向	193
(7)	活動に参加したいと思う理由	194
6.	高齢者の福祉サービスについて	195
(1)	高齢者の福祉サービスについて	195



<b>第8章 自由意見</b> .....	199
1 要介護認定 .....	201
2 介護予防 .....	202
3 在宅サービス内容 .....	205
4 施設サービス内容 .....	206
5 人材確保・育成 .....	208
6 入所待機の改善、施設整備 .....	209
7 情報提供 .....	210
8 相談 .....	211
9 経済的負担 .....	213
10 介護保険制度 .....	213
1 1 将来の生活 .....	214
1 2 その他 .....	217
1 3 調査について .....	221
<b>第9章 資料編</b> .....	225
1 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査票 .....	227
2 「介護保険事業計画準備調査（要介護・要支援者）」調査票 .....	239
3 「介護保険事業計画準備調査（一般高齢者）」調査票 .....	261
4 「在宅介護実態調査」調査票 .....	278
5 「事業者に対する調査」調査票 .....	289



## 第 1 章 調査の実施概要

1. 調査実施の目的
2. 調査の概要
3. 日常生活圏域について
4. 報告書を読む際の注意事項



## 1. 調査実施の目的

この調査は、介護保険法第117条に基づく「第6期介護保険事業計画」が平成29年度に終了することから、現行計画策定後の状況の変化等を踏まえ、平成30年度から平成32年度を計画期とする「第7期介護保険事業計画」の策定に向けた作業を進めるために、計画の対象となる介護保険の被保険者の方の日頃の生活の様子や健康状態、介護サービスの利用状況や意向等を把握することを目的とした。

## 2. 調査の概要

この調査は、介護保険サービス利用者及びサービスを利用していない人も含め、介護保険の被保険者の実情等を把握するため、国が調査票を示した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査、市独自の調査を行った。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査については、各1種類の調査、市独自調査については、3種類の調査を行った。

調査対象及び回収結果、調査方法及び調査期間の概要は、次のとおりである。

### (1) 調査対象

調査種別	調査対象	対象数
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護（要支援）認定を受けている65歳以上の市民（施設入所者を除く）の中から無作為抽出（A）	1,003人
	要介護（要支援）認定を受けていない65歳以上の市民の中から無作為抽出（B）	505人
② 介護保険事業計画準備調査（要介護・要支援者）	要介護（要支援）認定を受けている65歳以上の市民（Aで抽出した者を除く）	1,888人
③ 介護保険事業計画準備調査（一般高齢者）	要介護（要支援）認定を受けていない65歳以上の市民の中から無作為抽出（Bで抽出した者を除く）	1,004人
④ 在宅介護実態調査	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている人	803人
⑤ 事業者に対する調査	市内の介護保険サービス事業所	93か所
合 計		5,296件

### (2) 回収結果

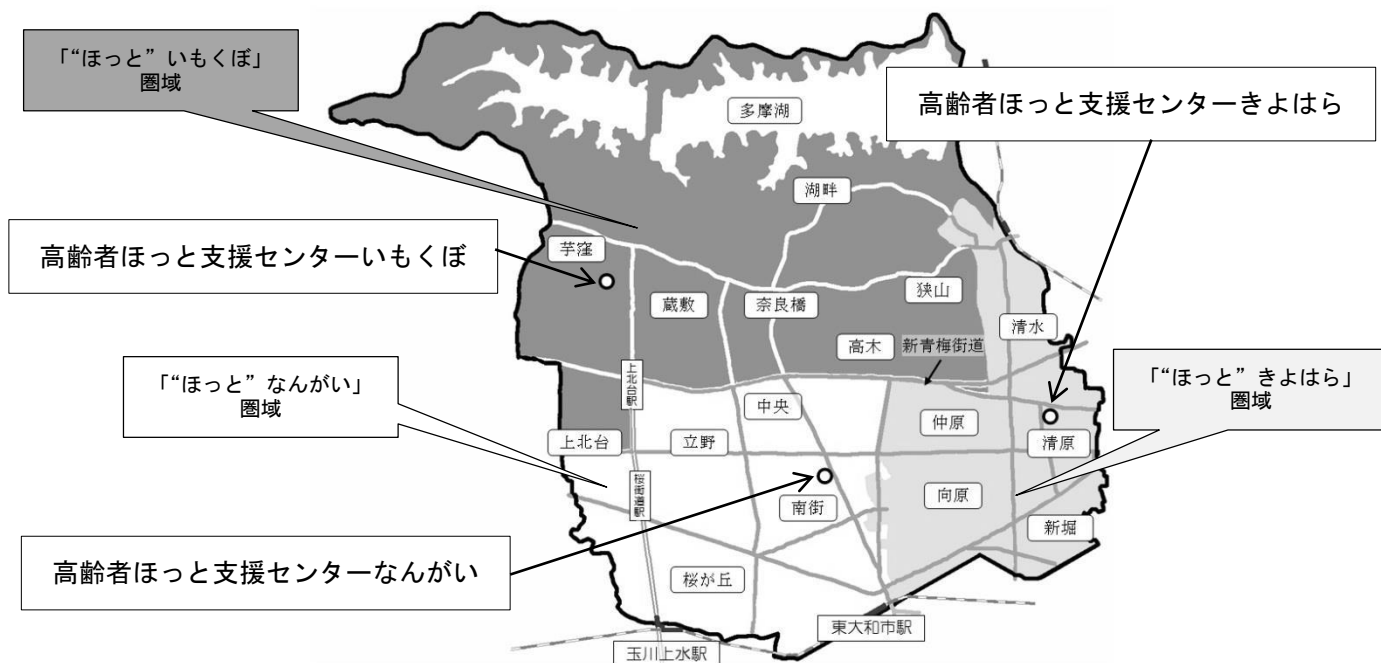
調査種別	対象数	回答数	回収率
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（A+B）	1,508人	1,121人	74.3%
② 介護保険事業計画準備調査（要介護・要支援者）	1,888人	950人	50.3%
③ 介護保険事業計画準備調査（一般高齢者）	1,004人	683人	68.0%
④ 在宅介護実態調査	803人	538人	67.0%
⑤ 事業者に対する調査	93か所	76か所	81.7%
合 計	5,296件	3,368件	63.6%

### (3) 調査方法及び調査期間

- ・調査方法：郵送送付・郵送回収の方法で行う調査（無記名）
- ・調査期間：平成28年12月9日～平成28年12月26日

### 3. 日常生活圏域について

「ほっと」いもくぼ」圏域	多摩湖・芋窪・蔵敷・奈良橋・湖畔・高木・狭山・上北台1、2丁目
「ほっと」きよはら」圏域	清水・仲原・向原・清原・新堀
「ほっと」なんがい」圏域	上北台3丁目・桜ヶ丘・立野・中央・南街



### 4. 報告書を読む際の注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する無回答を含む回答者数である。また、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び一般高齢者調査における居住圏域別集計は、無回答に「東大和市外」の該当者を含む。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文では割合値に対して実件数もあわせて表示している。うち、例えば「不安でない」と「あまり不安でない」を合計した<不安でない>のように同系統の選択肢をあわせた割合値は、端数処理の関係上、実際の実件数の合計値から計算した数値とはあわない場合もある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。なお、表中の「(灰色の)網掛け」は各クロス集計において、最も高い割合を示している。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・後期高齢者は、75歳以上の方を指す。